

あなたの住まいと暮らしを考える
東京土建足立支部の生活情報誌

す ま い

2011
年号

保存版

特集

震災に強い
家づくりまちづくり



足立区

東京土建一般労働組合足立支部

〒121-0816 東京都足立区梅島1-2-26 TEL 03-5845-5011
編集協力：NPO法人まちづくりネットワーク「すまいの相談室」

- * エッセイ・塔 (タワー) 1
- * 区民からの募金を
足立区へ 2
- * 足立区でも
液状化がおこる
..... 3・4
- * 地震に関する危険度
..... 5・6
- * 家具転倒防止で
地震も安心
..... 7
- * 耐震診断・耐震改修
工事の助成
原子力発電から
自然エネルギー発電へ
..... 8
- * 若者に「ものづくり」の
楽しさを伝える
..... 9・10
- * 第33回住宅デーから
..... 11
- * われらの元気な
事業所紹介
..... 12
- * NPO住まいの相談員
..... 13
- * 建築相談センター
..... 14

足立区と共に

東京土建 足立支部

住宅デーで寄せられた区民からの募金を 足立区・社会福祉協議会へ寄附しています。

足立区長より
記念品を
贈られる



住宅デー、
中学生の
職場体験などで
懇談を
かさねています



足立区長に住宅デーで寄せられた募金を寄附し懇談



足立区民への奉仕で一番喜ばれているのはなんと
いっても包丁とき。一本一本でいねいに研いでいます。



塔

(タワー)

人間は鳥に憧れ続けている。空を飛んで下界を見てみたいと。鳥瞰。飛べない人間は塔をつくり鳥瞰に近づこうと考えた。

明治23年11月11日、浅草に浅草12階といわれた凌雲閣という塔が外国人の設計で建設された。173尺(52m)の展望室からは東京界隈を越えて関八州の山々が見渡されたという。

当時、一番高いのは火の見櫓。雲を凌ぐ高い塔は下町っ子だけでなく日本一の繁華街、浅草を訪れる地方の人たちを驚かせた。石川啄木や北原白秋も塔の詩を詠んでいる。

173尺をほこった凌雲閣は大正12年9月1日の関東大震災で8階上から崩壊。その後、経営難から復旧困難となり陸軍工兵隊により爆破解体された。34年の命。

凌雲閣から121年たって、1キロ東に日本人の手によって634mの高さを誇る東京スカイツリーが建った。下町っ子の庭先に聳えている塔だ。下町をこよなく愛した永井荷風。眠りから覚め背広姿で下駄をカタカタ鳴らし銘酒屋の三角の小窓から634mの塔を見たらどんな言葉が出るだろうか？

「日本人は工業でも政治でもなんにかぎらず、ただその外形の方法ばかりを応用すれば、それで立派な文明はできるものと思っている……これで、立派な世界の一等国になったつもりで、得意になっているのかしら。改良でも進歩でも建設でもない。明治は破壊だ。旧態の美を破壊して一夜作りの乱雑粗悪をもつてこれに変えただけのことだ。〔新婦朝者日記〕より」

3月11日、東北地方太平洋沖大地震は首都東京も大きく揺るがした。しかし、東京スカイツリーは日本古来の塔建築工法、芯柱を据えた現代工学の結集で地震を吸い取り泰然と聳えている。永井荷風は喜んでいられるかも……

天災、人災が続く日本列島。日本人は鳥瞰から俯瞰へと進化したものだ。

(編集部)

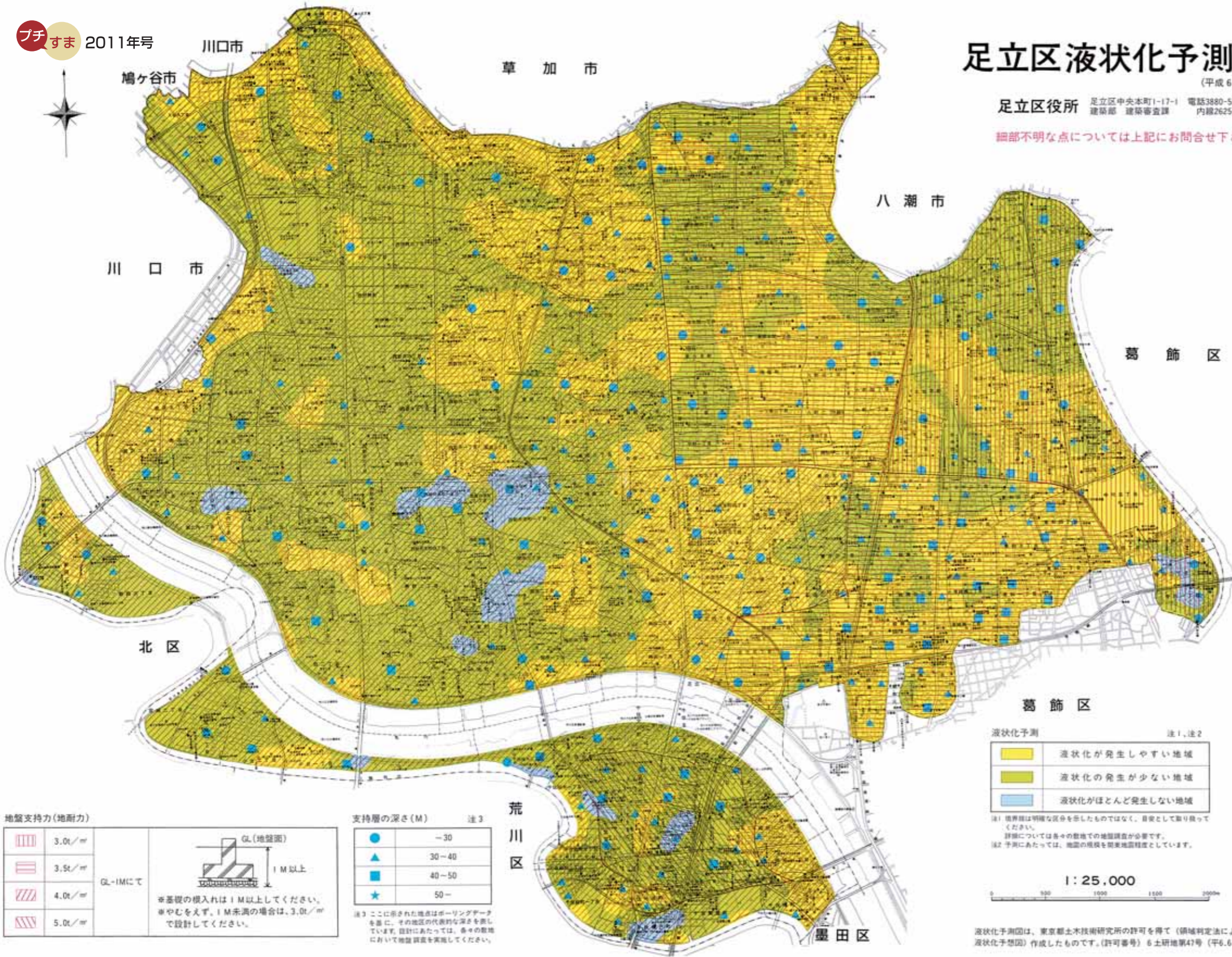


表紙絵

なかだ えり

イラストレーター。岩手県一関市生まれ。日本大学生産工学部建築工学科卒業・法政大学大学院建築科修了。1999年から東京・千住の蔵をアトリエに水彩画イラストを発表し、書籍挿画や連載執筆、法廷画、建築設計など多方面で幅広く活躍中。

<http://www.nakadaeri.com>



特集 震災に強い
家づくりまちづくり **No.1**



3.11震災でおきた荒川河川敷の液状化

足元を知る

江戸の昔から地震は地中のナマズが怒って引き起こしたとされた。地震が起きると当然建物が心配となるが、何でも基礎が出来ていないと全て駄目になる。私たちの足元の地盤を考えてみたい。

足立区の地盤

足立区は遠い昔、東京湾の入り江となっていた。そのとき川から運ばれた砂の層が沖積層と呼ばれ軟弱地盤となっています。この深さが30m~60m程あり地震のゆれを増幅させるため地表近くの砂層で液状化現象となります。



北千住西地域でマンホールから土砂が噴出

液状化防止対策

液状化がおこる町に住んでいる私たちは液状化に強い町づくり、家づくりが大切になります。足立区の地盤で注意しなければならないのは地中の残土や通称ガラとよばれる廃棄物が埋められていることもあることです。対策としては柱状改良工法(セメント系固化材)、鋼管杭工法(鋼管杭)、表層改良工法(セメント系固化材)などがあり建物や地盤によって選択することになります。

液状化被害の特徴

地盤内部の砂が液体化するわけですから揺れることによって当然、液体となった砂はマンホールや弱い地盤から吹き出されます。重い建物は沈み荷重の片寄った建物は傾きます。3.11東北地方太平洋沖地震によって千住西地域で下水管などのつなぎ目などから砂が噴出し周辺の家屋や道路の陥没化がみられました。また、足立区の最大の非難場所となっている荒川河川敷では至るところに土砂の噴出や段差がみられました。



荒川河川敷では段差も

足立区でも液状化がおこる。

あなたは地域の地震に関する危険度を知っていますか?

特集 震災に強い家づくりまちづくり No.2



足立区では3月18日、19日、20日に区内震災被害相談会を実施。足立支部組合員も相談会に参加。



急ぎ救助 救援を

危険度の高い地域は、木造建築物が密集している地域に多いです。具体的には足立区南部、葛飾区西部、墨田区北部にひろがる住宅密集地域で

火災危険度の測定結果

危険度の高い地域は、木造建築物が密集している地域に多いです。具体的には足立区南部、葛飾区西部、墨田区北部にひろがる住宅密集地域で

延焼の危険性

建物の構造や建物の間隔などから測定。広幅道路や公園等が少なく、木造密集している地域ではさらに危険性が高くなります。

出火の危険性

地震が起きて一番怖いものは建物の倒壊と火災です

世帯や用途別の事業所の分布状況や火気器具等の使用状況を把握するとともに、火気器具、電気器具、化学薬品などの出火要因別の出火率を算定しこれらを掛け合わせて測定しています。

総合危険度の測定

建物倒壊危険度と火災危険度を合わせたものが総合危険度で荒川と隅田川沿いのいわゆる下町地域一帯に分布しています。足立区では、関原2丁目、千住4丁目、千住寿町、龍田町、仲町、元町、柳町、大川町、柳原2丁目が高くなっています。

災害に強いまちづくり

足立区でも災害に強いまちづくりをすすめています。建物の耐震性の向上や不燃化促進、細街路の拡幅など。なんとと言っても各自が自覚することと日頃より町会・自治会の防災訓練に参加することです。

危険度ってどのようか測ったのでしょうか

測定は、木造、鉄筋コンクリート造りなどの建物構造、建築年代、階数などの種別ごとの棟数、建物用途ごとの火気器具や電熱器具の使用状況、道路や公園の整備状況などのデータをもとに、科学的に地震による危険性を測定しています。

建物の分類・集計+地盤の分類+建物倒壊度+火災危険度=総合危険度

建物倒壊危険度の測定方法

建物が壊れる割合は、阪神・淡路大震災などの過去の地震被害の調査事例などをもとに、地盤状況や建物種別ごとに1から5に設定してあり、5が一番危険度が高くなります。足立区では関原2丁目、3丁目、千住3丁目、4丁目、千住寿町、大川町、龍田町、柳町、仲町、緑町2丁目、本木2丁目、中川3丁目、柳原2丁目が高くなっています。

あなたは住んでいるまちは大丈夫ですか?

東京都は南関東でマグニチュード7程度の地震発生が30年以内70%に起きると想定して地域別に建物倒壊危険度、火災危険度のランクを示し二つを合わせたものが総合危険度です。あなたの住んでいる町は大丈夫ですか。

地盤の特性

足立区をふくむ下町地域は沖積低地なので地震が起きたときは揺れが増幅されやすいため被害が発生しやすいのです。

建物の特性

建物倒壊の危険性は、建物の耐震性が低いほど、建築年代が古い(昭和54年以前が特に耐震性が弱い)ほど高くなります。



甚大な被害を伝える新聞



都内の事務所でも被害が

東京都都市整備局・地震に関する地域危険度測定調査(平成20年2月公表)

建物倒壊危険度 + 火災危険度 = 総合危険度

町名	町丁目	建物倒壊危険度	火災危険度	総合危険度	町名	町丁目	建物倒壊危険度	火災危険度	総合危険度	町名	町丁目	建物倒壊危険度	火災危険度	総合危険度	町名	町丁目	建物倒壊危険度	火災危険度	総合危険度	町名	町丁目	建物倒壊危険度	火災危険度	総合危険度
青井	1丁目	3	3	2	大谷田	3丁目	3	2	2	鹿浜	2丁目	2	2	2	千住中居町		4	4	3	舎人	1丁目	2	2	2
青井	2丁目	3	4	3	大谷田	4丁目	2	2	1	鹿浜	3丁目	3	2	1	千住仲町		5	5	4	舎人	2丁目	3	2	2
青井	3丁目	3	2	2	大谷田	5丁目	2	2	1	鹿浜	4丁目	3	3	2	千住橋戸町		3	2	2	舎人	3丁目	3	2	2
青井	4丁目	3	3	2	興野	1丁目	4	4	3	鹿浜	5丁目	2	1	1	千住宮元町		4	4	3	舎人	4丁目	2	2	2
青井	5丁目	2	2	2	興野	2丁目	4	4	3	鹿浜	6丁目	3	2	2	千住元町		4	5	4	舎人	5丁目	3	2	2
青井	6丁目	3	3	3	小台	1丁目	2	1	1	鹿浜	7丁目	3	2	1	千住柳町		5	5	5	舎人	6丁目	1	1	1
足立	1丁目	4	4	4	小台	2丁目	4	4	3	鹿浜	8丁目	3	2	1	千住東1丁目		4	4	3	舎人町		1	1	1
足立	2丁目	3	4	4	加賀	1丁目	3	3	2	島根	1丁目	3	3	3	千住東2丁目		4	4	3	中川	1丁目	3	3	3
足立	3丁目	3	3	3	加賀	2丁目	2	2	1	島根	2丁目	3	3	2	千住桜木1丁目		2	2	1	中川	2丁目	4	4	4
足立	4丁目	4	4	3	加賀	1丁目	2	2	1	島根	3丁目	3	2	2	千住桜木2丁目		2	2	2	中川	3丁目	5	4	4
綾瀬	1丁目	3	3	3	加平	2丁目	2	1	1	島根	4丁目	2	2	2	千住緑町1丁目		2	1	1	中川	4丁目	3	2	2
綾瀬	2丁目	3	3	2	加平	3丁目	2	2	1	新田	1丁目	2	2	2	千住緑町2丁目		5	4	3	中川	5丁目	2	2	1
綾瀬	3丁目	2	2	1	北加平町		3	2	2	新田	2丁目	3	2	2	千住緑町3丁目		4	4	3	西綾瀬	1丁目	3	2	2
綾瀬	4丁目	3	2	2	栗原	1丁目	3	3	3	新田	3丁目	2	2	2	千住緑町4丁目		2	2	1	西綾瀬	2丁目	3	3	3
綾瀬	5丁目	3	2	2	栗原	2丁目	2	2	2	神明	1丁目	3	2	2	竹の塚	2丁目	3	2	1	西綾瀬	3丁目	3	3	3
綾瀬	6丁目	2	2	1	栗原	3丁目	3	2	2	神明	2丁目	3	2	2	竹の塚	3丁目	2	2	2	西綾瀬	4丁目	3	2	2
綾瀬	7丁目	2	2	1	栗原	4丁目	2	1	1	神明	3丁目	3	2	2	竹の塚	4丁目	2	1	1	西新井	1丁目	3	2	2
入谷町		1	1	1	弘道	1丁目	3	3	2	神明南	1丁目	3	2	2	竹の塚	5丁目	2	2	2	西新井	2丁目	3	2	2
梅島	1丁目	3	3	2	弘道	2丁目	2	2	2	神明南	2丁目	3	3	2	竹の塚	6丁目	2	1	1	西新井	3丁目	2	2	2
梅島	2丁目	3	3	2	江北	1丁目	2	2	1	関原	1丁目	4	4	4	竹の塚	7丁目	2	2	2	西新井	4丁目	3	2	2
梅島	3丁目	3	3	3	江北	2丁目	3	3	3	関原	2丁目	5	5	5	辰沼	1丁目	2	2	1	西新井	5丁目	3	2	2
梅田	1丁目	4	4	3	江北	3丁目	3	3	2	関原	3丁目	5	5	4	辰沼	2丁目	3	3	2	西新井	6丁目	3	3	2
梅田	2丁目	4	4	4	江北	4丁目	2	2	2	千住	1丁目	4	4	3	中央本町	1丁目	2	2	1	西新井	7丁目	2	1	1
梅田	3丁目	4	5	4	江北	5丁目	2	1	1	千住	2丁目	4	4	3	中央本町	2丁目	3	2	2	西新井栄町	1丁目	3	3	3
梅田	4丁目	4	4	4	江北	6丁目	1	1	1	千住	3丁目	5	5	4	中央本町	3丁目	2	2	2	西新井栄町	2丁目	3	3	3
梅田	5丁目	4	4	3	江北	7丁目	2	2	2	千住	4丁目	5	5	5	中央本町	4丁目	3	3	2	西新井栄町	3丁目	4	4	4
梅田	6丁目	4	4	3	古千谷	1丁目	1	1	1	千住	5丁目	4	4	4	中央本町	5丁目	3	3	2	西新井本町	1丁目	4	4	4
梅田	7丁目	3	3	3	古千谷	2丁目	1	1	1	千住曙町		2	2	2	椿	1丁目	2	2	1	西新井本町	2丁目	4	4	4
梅田	8丁目	3	3	3	佐野	1丁目	3	2	2	千住旭町		3	4	3	椿	2丁目	3	3	2	西新井本町	3丁目	4	4	3
扇	1丁目	3	3	2	佐野	2丁目	3	2	2	千住大川町		5	5	5	東和	1丁目	3	2	2	西新井本町	4丁目	3	4	3
扇	2丁目	2	2	2	血沼	1丁目	3	2	2	千住河原町		4	4	3	東和	2丁目	3	3	2	西新井本町	5丁目	3	3	3
扇	3丁目	2	2	1	血沼	2丁目	2	1	1	千住寿町		5	5	5	東和	3丁目	3	2	2	西伊興町		1	1	1
大谷田	1丁目	3	3	2	血沼	3丁目	2	2	1	千住閑屋町		1	1	1	東和	4丁目	3	3	3	西加平	1丁目	2	1	1
大谷田	2丁目	2	2	1	鹿浜	1丁目	2	1	1	千住龍田町		5	5	5	東和	5丁目	3	2	2	西加平	2丁目	2	2	2

特集 震災に強い
家づくりまちづくり

No.4

足立区の木造住宅の耐震診断・耐震改修工事の助成制度



足立区震災緊急相談会で相談を受ける足立支部一級建築士

①耐震診断費用の助成について

助成額	主な助成要件	耐震診断で作成するもの
助成限度額 10万円	<ul style="list-style-type: none"> ●木造戸建住宅 ●昭和56年5月以前の住宅 ●区登録診断士による診断 	<ul style="list-style-type: none"> ■精密耐震診断 ■耐震補強計画 ■概算工事費

助成要件の詳細については、お問い合わせください。

②耐震改修工事費用の助成について

助成額	主な助成要件
対象工事費の1/2で かつ、助成限度額 一般世帯 80万円 特例世帯※ 100万円	<ul style="list-style-type: none"> ●おおむね2年以内に区の耐震診断助成を受けた住宅で耐震補強が必要と判断されたもの ●建築基準法の適合が確認できること ●区登録耐震診断士による工事監理 ●耐震シェルター・ベッドの設置支援助成を受けていないこと

助成要件の詳細については足立区にお問合わせください。

家具転倒防止器具などの取付工事助成制度

①助成対象者

住宅にお住まいの方で、次の世帯のいずれかに該当すること。
●60歳以上の方を含む世帯など

②助成対象内容

●家具等（たんす・食器棚・本棚など）の転倒防止器具（突っ張り棒・鎖・ベルト・壁止め金具・扉の開放防止装置など）の取付費用などを助成します。

③助成額

消費税相当額は助成対象外です。また助成額は千円未満の額を切り捨てしてお支払いします。
●限度額**30,000円**※1世帯に1回限り。

原子力発電から自然エネルギー発電へ

太陽光発電が日本を救う!!

足立区の補助金
kw7万円です

東北地方を襲った地震は津波の被害も甚大でしたが、世界の人々を驚愕させたのは原子力発電所の損壊です。人間の科学を超える力をもっているのが自然の力。「想定外」です。自然と共生するには原子力発電から自然エネルギー発電へと移行するのも科学の進化です。

日ノ出町にお住まいの松本さん（仮名）は2009年に足立区などの補助を受けて太陽光発電を設置し電力の20%を自給しています。足立区民、いや国民が自家で電力の20%自給すれば原子力発電から脱却でき可能性が生まれるのではないのでしょうか。



特集 震災に強い
家づくりまちづくり

No.3

家具転倒防止器具取付工事で地震でも安心でした。

東北地方を襲った大地震は東京都足立区にも大きな揺れを引き起こした。震度5強。足立区の被害は屋根瓦の崩壊落下や建物のタイルの落下ひび割れなどがみられた。そんななか「今回の地震で本当に助かったよ」というのは足立区ですすめている家具転倒防止器具取付工事を行った人たち。「食器棚の食器が一つも落ちなかったです」とか「家具がしっかりと固定されていたので部屋全体の揺れも少なく感じた」などの声が寄せられています。

足立区西保木間でリフォーム工事をしてる足立区耐震改修施工登録の日本橋ハウスの笠原昂さんには震災直後22人の設置者からお礼の電話がありそのあと新たに84人から設置要望が届いているという。

足立区江北のカミエ建設の上江健司さんも足立区耐震改修施工登録業者。やはり震災あとはお礼の電話とともに近所の団地の人たちが集まり家具転倒防止器具取付



西保木間 清藤さん



西保木間 渡辺さん

被災者が多かったが、阪神淡路地震の都市型震災では家具類などの圧死が80%を越した。「倒れる前に逃げる」ために家具転倒防止器具取付工事は大きな教訓だ。まさに「備えあれば憂いなし」

「第4回日本耐震グランプリ」受賞

NPO東京いのちのポータルサイトが主催する日本耐震グランプリに東京建築士事務所協会の足立支部が受賞しました。

「耐震診断」「補強設計」「概算見積」を3点セットにし区民に利用しやすい制度にし、この結果耐震補強実績だけでなく家具転倒防止も効果をあげ前年の4件が310件と爆発的な変化をもたらしました。

東京土建足立支部も耐震診断、耐震施工集団としてこの事業促進に大きな役割をはたしています。

工事助成制度の説明会をひらいたという。足立区は都内のなかでも耐震助成制度が拡充している。今回の大地震の被害は津波での

備えあればうれいなし

住宅デーの会場で
実物大の部屋をつくり説明会



耐震補強は足立区に登録している業者さんを。

食器棚が倒れるどころか食器一枚もこわれませんでした。

建設雇用改善のための実務情報誌で 足立の活動が紹介されました



最終日の3日目には、加工した木材を支部会館の駐車場に移し、小屋組の組立て作業がスタート。生徒らは、実習のために協議会が用意した保護帽と安全帯を着用す

「ムサン」(634)になる前に現場見学



スカイツリー見学会でTV取材を受ける一幕も

の計画の認定を得て、協議は事業を実施することになった。また、事業実施に際して協議会は、参



指導員は現場の建築士、大工さん達です

削るってこんなに難しいとは...



用法が講義。また、これを用いた採寸、



の頑張りや素晴らしさを十分に味わったという。

機構東京センターと連携 事業計画の認定を目指す

大成功に終わった職場体験。参加した中学校の一つである足立区立第4中学校は、実は主会場となった足立支部会館に隣接。足立支部に対しては、以前より同校から、いく度となく「授業の一環として職場体験への協力を」との要請があった。しかし、生徒の安全確保や費用面などの問題から同支部はその都度、要請を断らざるを

足立支部は、足立建設業人材育成協議会を立ち上げると、建設業人材育成支援助成金の受給資格の認定を得るための取組みをスタート。助成金支給の窓口である前記機構東京センターのアドバイスを受けながら、若年者に対する「啓蒙」「体験学習」から構成される「事業実施計画」を作成した。この計画の認定を得て、協議は事業を実施することになった。また、事業実施に際して協議会は、参

(記事・労働調査会出版局「そら」編集部)



はじめて「フミ」を握りました



墨付からおそわりました



気持ちは大工さん

建設業人材育成支援協議会事業

工作教室や体験学習を企画・開催 若者に「ものづくり」の 楽しさを伝える

足立建設業人材育成協議会の取組み

将来の建設業を担う若者を育てたい。そんな共通の思いを持った東京土建足立支部の会員ら24社が、平成22年5月に設立した「足立建設業人材育成協議会(増子今朝男理事長)」。地域に密着した活動を展開し、ものづくりの楽しさや喜び、そして、建設業という仕事の魅力を、多くの若者に広めつつある。同協議会の活動は、主に小学生を対象とした工作教室と、中学生を対象とした職場体験に大きく区分される。まず、区内の小学生を対象とした工作教室は、協議会の母体でもある東京土建足立支部が平成22年6月6日(日)に開催し



みんなで力を合せました



た「まちづくり住宅デー」や、区内各所の児童館でのイベントなどに合わせて実施。住宅デーでの工作教室は、区内34会場で開催され、児童・生徒ら約900人が参加した。また、児童館での工作教室は区内7個所の児童館を会場に開催、これまで延べ1000人の子どもたちが参加した。

人材育成協議会を設立 工作教室や体験学習を実施

これら工作教室では、木製プラントラを作製する大工体験、タイル工作体験、銅版細工体験などが実施。また、児童3人に対して1人の指導員が配置されるなど、キメの細かい指導やケガ防止への注

得なかった。しかし今回、同支部は足立建設業人材育成協議会を立ち上げ、同校を含め4校の職場体験の実施をはじめ、小学生を対象とした工作教室などの開催などの一連の取組みを実現。それを可能としたのは、(独)雇用・能力開発機構が実施する「建設業人材育成支援助成金」の活用だ。

高校生への研修を計画 若者の入職促進へつなげる

協議会にはその後、職場体験に参加した生徒らからは、「皆で建ててうれしかった」などの感想が寄せられるなど、協議会の取組みが高く評価されたようだ。今回の成功を受け、協議会は23年度、建築系学科で学ぶ高校生を対象とした研修を予定。小学生へのものづくりの楽しさのPRから始まり、中学生や高校生への建設業という仕事の理解促進により、若年者の入職促進につなげたいと考えた。

環境・機能 そして耐震性を 備えた住宅を

有限会社坂本工務店は足立区花畑で広く木造戸建建築に携わっており新築建物、年間50棟前後を建てている。新築建物は全て(株)日本住宅保証検査機構(JIO)と契約しあらゆる検査をしてもらい耐震を含めた安全な家造りをおこなっている。



2011年3月に落成した足立区内の邸宅

2011年3月区内の新築現場でJIOの検査を受けながら工事をすすめる

われらの元気な 事業所紹介5

有限会社坂本工務店



社長の坂本春雄さんは岩手県九戸郡野田村生まれ。昭和45年に東京に出て平成元年に独立し現在に至っている。

坂本さんは後継者育成にも熱心だ。大工育成機関でもある東京土建カレッジにこれまで4人を送り出している。今年も高校を終えたばかりの新人を会社に向かえ東京土カレッジに送り出している。

足立区アスベスト対策費助成事業のご案内

◆助成対象となる条件は……

この助成事業の対象となる建築物等は、平成元年以前に建設されたもので、下記の項目に該当することが必要です。

助成対象者	1. 区内に対象建築物を所有する個人 2. 区内に対象建築物等を所有する中小事業者 3. 区内に所在する共同住宅の管理組合（建物の区分所有等に関する法律（昭和37年法律第69号）第3条の規定に基づく管理組合をいう。）の代表者
助成種類	1. 成分分析調査及び空気環境測定調査 飛散の危険性のある吹付けアスベスト又はアスベスト含有が疑われる吹付け材に対する、アスベストの専門機関による調査 2. 除去等工事（露出した吹付けアスベストの除去、囲い込み又は封じ込めの工事） ※除去等工事完了日から引き続き5年間継続的に使用される建築物に限る
助成対象建築物等	建築基準法（昭和25年法律第201号）第2条第1号に定める建築物 *住宅・工場・倉庫・駐車場等 建築基準法施行令（昭和25年政令第338号）第138条に定める工作物 *煙突・広告塔等
助成回数	対象建築物等について1回限り
その他	年度内に調査及び工事を完了するもの

◆助成金額は……

種類	金額	限度額
成分分析調査及び空気環境測定調査	調査に要する費用の2分の1相当額（1000円未満の端数は切捨て）	10万円
除去等工事	除去等工事に要する費用の2分の1相当額（1000円未満の端数は切捨て）	1戸建て住宅 50万円 共同住宅 200万円 上記以外 200万円

消防団員募集中!!

入団資格は…

18歳以上の健康な方であれば、どなたでも申し込みができます。詳細については、お住まいの地域、勤務している事業所を管轄している消防署へお問い合わせください。

一緒に町を守りませんか？



お問い合わせは

西新井消防署 3853-0119 千住消防署 3882-0119 足立消防署 3852-0119

田 第33回住宅デーから

35会場に
1万人が来場。

2011年は6月5日
(関原八幡神社は6月12日)



厚生労働省、足立区、教育委員会、まちづくり公社、社会福祉協議会などの後援を受けておこなった第33回

まちづくり住宅デーは4年ぶりの晴天に恵まれ35会場に1万人を超える区民のみなさんが訪れてくれました。

そのなかで住宅相談が100件を超し、そのなかには新築や大規模リフォーム相談もあり施工まで結びつけました。区民のみなさんからは「住宅デーは包丁とぎ」の代名詞ともなっている包丁とぎには4,261本をきれいに仕上げ、まな板386板も清潔感あふれるまな板に変身しました。

2011年は6月5日（関原八幡神社は6月12日）に区内各所でおこなわれます。多くの区民の方の来場をお待ちしています。



すまいのご相談は、 お近くの建築相談センターへ

総合窓口・すまいの相談室 TEL0120-845-102

分会名	主な相談担当エリア	事務局	電話
足立東	東和・中川1~4	村上 保	03-5682-3434
新中川	大谷田1~5・佐野・中川3と5・谷中5	金子 宏嘉	03-3605-6556
綾瀬	綾瀬・東綾瀬・谷中1~2・加平	総合窓口	
六木	六木・神明	小針 義男	03-3620-8154
神明	神明南・辰沼・加平2~3・北加平	横山 武治	03-3606-4279
栄	関原2~3・西新井栄町1~2	瀬田 宗市	03-3849-4672
	西新井本町・扇3・西新井栄町3	大森 光徳	03-3854-4187
江扇	扇2・江北1~5・宮城・小台	丹野 隆之	03-3854-3722
柳原	柳原・千住東・日ノ出・千住旭・関屋・曙	吉田 稔	03-3870-4610
千住	千住・緑・桜木・大川・元町・柳町・寿町・龍田・中居・宮元・仲・河原・橋戸	総合窓口	
西新井	西新井・栗原3~4	前沢 徳好	03-3855-4114
本木	本木・本木東・本木南・興野1・関原1~2	川島 俊一	03-3380-3669
興本扇	興本・扇一丁目		
鹿浜	鹿浜1~5・堀ノ内・新田	渡辺 久一	03-3897-0498
入谷舎人	舎人・2~6・入谷・舎人町	木島富士夫	03-3897-8378
寺町	古千谷・古千谷本町・舎人1・東伊興・西竹ノ塚2・東伊興町・伊興前沼・狭間・五庵・白幡・伊興本町	佐藤二九二	03-3897-8212
椿谷在家	椿・谷在家・江北6~7	山本 達二	03-3899-6562
皿沼	皿沼・加賀・鹿浜6~8	総合窓口	
西伊興	西伊興・伊興・西伊興町・西竹ノ塚	橋本 正三	03-3853-0488
さくら	島根・六月・栗原	久保田勇治	03-3885-8012
	竹ノ塚・西保木間	笠原 昂	03-3883-2763
中梅	梅田・梅島・中央本町	伊藤 重雄	03-3840-1871
花保	南花畑1~4	庄山 武美	03-3883-0191
	南花畑5・保木間・東保木間1~2	大関 正男	03-3850-6435
平野	平野・一ツ家・六町・東六月・保塚町・西加平1~2	山崎 秀雄	03-3885-4879
花畑	花畑	落合 昭雄	03-3884-2245
青井足立	弘道・西綾瀬・足立	吉田 晶彦	03-3889-9072
	青井	青木 徳雄	03-3897-1027

N P O 住まいの相談室

首都圏にも

大震災はいつ来るかわからない

そなえあれば 憂いなし



NPOまつり

2月28日開催

「住まいの相談室」では住まいの事なら何でも相談を受け付けています。住まいに関する相談なら何でもお受けいたします。また、地震に備えての家具転倒防止金具の取り付けなど、東京土建足立支部の各分会住宅センターと連携しながらご相談に応じます。

耐震診断、耐震補強、リフォーム相談等

2月28日に開催されたNPOまつりでは、餅つき、綿あめ、子ども木工教室、住宅相談などが行われました。



耐震構造を説明するNPO会員

足立区主催の
緊急建築相談会
3月18日・19日・20日に
ひらかれました



3月11日の東北関東大震災を受けて、足立区が相談会を実施。NPO「住まいの相談室」も相談員として参加しました。

お住まいのご相談は「住まいの相談室」へ

〒121-0816 東京都足立区梅島1-2-26
NPOまちづくりネットワークすまいの相談室
TEL 0120-845-102

お住まいに関するご相談は 私たちにお任せください!

リフォーム

新築

見積もり無料

増改築

点検・etc...

どんなことでもお気軽に!

地元密着

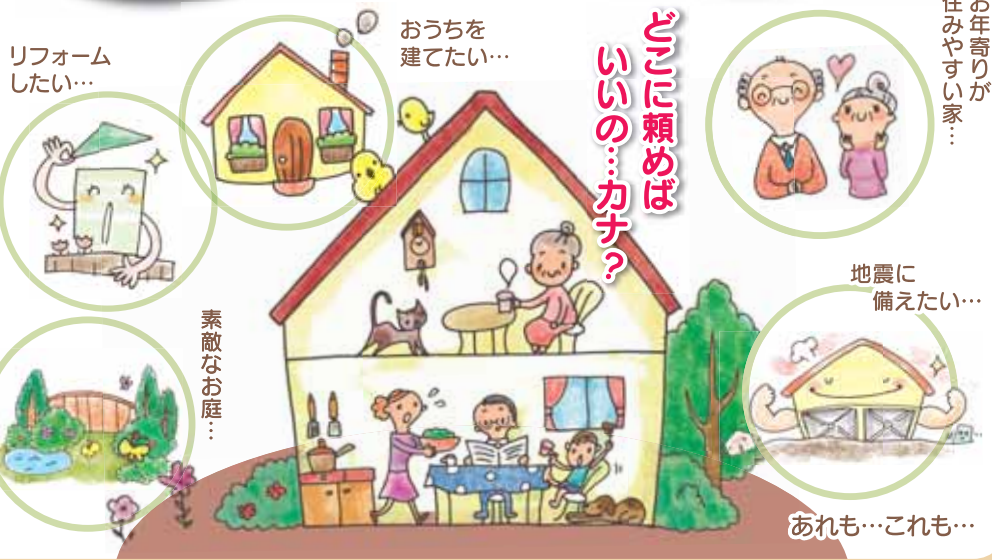
だからできる
きめ細かい
サービス

安心

の技術で
施工

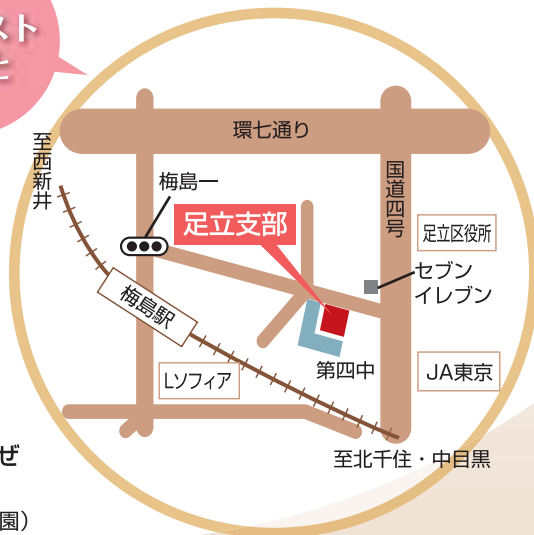
地元

ならではの
フットワーク



アスベスト
のこと

建設関係業者の
みなさん
相談ください



電車 ● 東武梅島駅徒歩7分
バス ● コミュニティーバスはるかぜ
第四中前下車すぐ
(足立区役所⇄鹿浜都市農業公園)

プチすま

2011年号